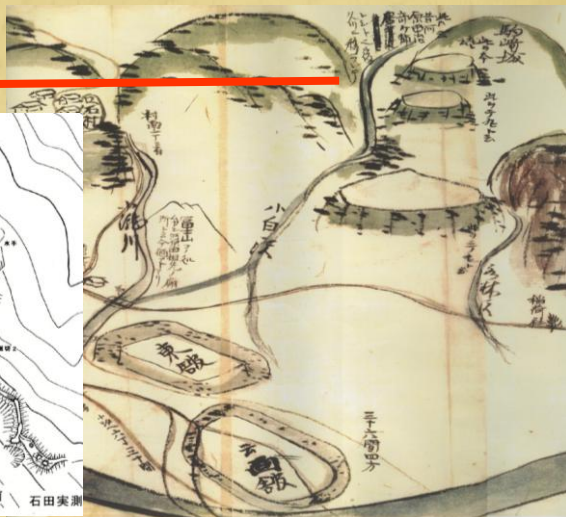


駒寄城跡と久川城跡

南会津町 河原田氏の居城

河原田氏の山城。
久川城以前の駒寄城跡



南会津の中央には、河原田氏が住んでいました。河原田氏は、田島の長沼氏と同じ小山氏の一族で、下野国（栃木県）の河原田（小山市河原田）を本拠としたとされています。

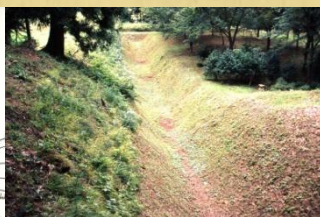
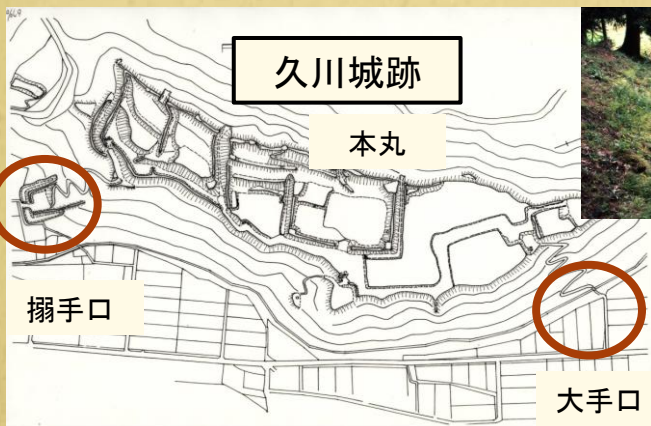
戦国時代には、伊南古町を拠点にいました。館は、「東館」、「西館」であり、今の伊南総合支所付近です。山城は南東の標高約八〇〇メートルの山頂に「駒寄城」がありました。

河原田盛次は、天正十七年（一五八九）伊達政宗の進攻に備え、駒寄城と城下町を移し、新たな拠点として「久川城」を築きました。上杉時代は、清野長範がいました。

現在の久川城跡は、南会津の上杉残党による反乱を恐れ、慶長七年（一六〇二）に蒲生秀行が大改修させたものです。

北西に石垣を伴う大手口がありましたが今は無く、南に搦手口が残されています。城代として、蒲生忠右衛門を置きましたが、慶長十五年（一六一〇）には城が廃止されています。

文責 石田明夫



大手口石垣

「図書」 県立図書館蔵